

近畿大学医学雑誌

第四十九卷

第三・四号

(43~86)

令和六年十二月十八日発行

Medical Journal of Kindai University

近畿大学医学雑誌

第49卷 第3・4号 2024

MEDICAL JOURNAL OF KINDAI UNIVERSITY

近畿大学医学雑誌

第49巻 第3・4号 2024

目次

巻頭言

研究と医師の働き方改革 梶 博史

総説

腸内細菌叢と前立腺癌：Gut-prostate axis 藤田和利 47

シリーズ 最新のがん

悪性黒色腫に対する薬物療法：現状と展望 大塚篤司 51

研修医のための教育講座

人工股関節置換術：進化の歴史と今後の展望 後藤公志 59

症例報告

大坐骨孔ヘルニアに対してヘルニア修復術を施行した1例 村瀬貴昭, 大澤 亨, 松本逸平 67

医学教育シリーズ

2023年度近畿大学医学部ロンドン研修プログラム
(Imperial College London (Chelsea and Westminster Hospital)) に参加して
..... 貴島芳香, 中根大周 71

2023年度近畿大学医学部ロンドン研修プログラム
(University College London (Royal Free Hospital)) に参加して
..... 瀧澤佑介, 石谷 友, 岩本海佑, 五郎丸真紀 75

2023年度近畿大学医学部タイ研修プログラムに参加して
..... 井上綺巳, 二階堂綾音 79

2023年度近畿大学医学部ベトナム研修プログラムに参加して
..... 原 理紗, 寺田友香 81

第83回 近畿大学医学会学術講演会

プログラム	1 A
2024年度近畿大学医学会各賞受賞者リスト	3 A
近畿大学医学会特別講演抄録	7 A
2025年度近畿大学医学会賞, 近畿大学医学会奨励賞募集要項	1 S
索引 (49巻 1・2号, 3・4号)	85
編集後記	大塚篤司

Author Index (49卷1号～4号)

A	新垣紀子	37
F	福田奈穂	37
F	藤田和利	47
G	後藤公志	59
G	五郎丸真紀	75
H	原理紗	81
I	石谷友	75
I	岩本海佑	75
I	井上綺巳	79
K	黄彩実	37
K	小谷泰史	37
K	川崎薫	37
K	貴島芳香	71
M	松尾幸憲	13
M	前田法一	21
M	森内芳	37
M	松村謙臣	37
M	村瀬貴昭	67
M	松本逸平	67
N	二階堂綾音	79
N	中根大周	71
O	大塚篤司	51
O	大澤亨	67
S	篠崎広一郎	3
S	佐藤華子	37
T	寺田友香	81
T	瀧澤佑介	75
Y	山本貴子	37
	卷頭言 川村純一郎	1・2号
	梶博史	3・4号
	編集後記 大塚篤司	1・2号, 3・4号

Subject Index (49巻1号～4号)

A	悪性黒色腫	51
A	androgen	47
B	病態	21
C	CTLA-4	51
C	Cytokine	3
C	治療	21
D	大坐骨孔ヘルニア	67
F	腹腔鏡手術	37
G	gut microbiome	47
H	放射線治療	13
I	ICI	51
I	IGRT	13
I	インプラント	59
I	IMRT	13
I	イレウス	37
J	人工股関節置換術 (THA)	59
K	化学放射線療法	13
M	ミトコンドリア	3
M	免疫チェックポイント阻害薬	13
M	慢性腎臓病	21
P	PD-1	51
P	ポータサイトヘルニア	37
P	prostate cancer	47
S	酸素代謝	3
S	心停止	3
S	SBRT	13
S	心臓病	21
S	周術期合併症	37
S	手術	59
S	摺動面	59
T	糖尿病	21
Z	坐骨ヘルニア	67
Z	坐骨孔ヘルニア	67

近畿大学医学会会則

第 1 条 本会は、近畿大学医学会と称する。

第 2 条 本会は、医学の進歩発展に寄与し、医学的知識の向上と、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 近畿大学医学雑誌および Acta Medica Kindai University の発行
2. 学術講演会の開催
3. 学術図書の発行
4. その他本会の目的を達成するに必要な事業

第 4 条 本会は、次の会員をもって組織する。

正 会 員 近畿大学医学部に所属する教員，研修医，大学院学生および特別研究生
近畿大学学園の医学部以外の教職員および研究員で本会に入会を希望し評議員会で承認されたもの

近畿大学医学部卒業生

準 会 員 近畿大学医学部に在学する学生

名誉会員 本会の発展に著しい貢献のあった者で、幹事会の提議により評議員会で承認されたもの

特別会員 前記会員のほか、本会の主旨に賛同し入会を希望する医学関係者で評議員会で承認されたもの

賛助会員 本会の主旨に賛同し、本会に援助することを希望するもので評議員会で承認されたもの

第 5 条 会員は、附則に定める会費および入会金を納入しなければならない。

2. 会費を納入した会員は、近畿大学医学雑誌の配布を受けるほか、第 3 条の事業に参加することができる。
3. 準会員は第 3 条の事業に参加できるが雑誌の定期的配布は受けられない。但し学術講演会や雑誌に発表した場合は当該巻号の雑誌を希望により受けることができる。

第 6 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 近畿大学医学部長がこれにあたる

副 会 長 1 名 会長が委嘱する

顧 問 若干名 会長が委嘱する

幹 事 若干名 会長が委嘱する

評 議 員 若干名 会長が委嘱する

監 事 2 名 会員中より評議員会で選出し会長の承認を得る

2. 役員任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

第 7 条 会長は、本会を統轄し、必要に応じて幹事会、評議員会を開催し、その議長となる。

2. 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、これを代行する。

第 8 条 幹事は、幹事会を組織し、本会の会務（庶務・会計・編集その他）を分担し執行する。

第 9 条 評議員は、評議員会を組織し、本会の重要事項を評議する。

第 10 条 監事は、本会の会計および資産などを監査する。

第 11 条 総会は、年 1 回これを開催し事業の報告などを行う。

第 12 条 本会の会則を変更する場合は、評議員会において出席者の 2 分の 1 以上の同意を必要とする。可否

同数のときは議長の決めるところによる。

ただし評議員会の成立は2分の1以上の出席を要する。この場合委任状をもって出席に代えることができる。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

第14条 本会の事務所は、近畿大学医学部内におく。

附 則

1. この会則は、昭和51年11月1日から施行する。
2. この会則の改正は、平成23年4月1日から施行する。
3. 会費および入会金は次のごとく定める。

	会 費	入会金
正 会 員	年額 3,000円	1,000円
準 会 員	会費, 入会金ともに無料とする	
特別会員	年額 3,000円	1,000円
賛助会員	年額 50,000円以上	

なお、会費・入会金を変更する場合は評議員会において定め、会員にその旨通知する。会費は、年度始めに前納する。

4. 会費未納の場合は、会員の資格を失う。
5. 会長は、編集委員若干名を医学部教員中から委嘱する。

編集委員は、医学雑誌等の発行に関する業務を行う。任期は3年とし、再任を妨げない。

(2019年6月19日改訂)

近畿大学医学会雑誌投稿規定

1. 近畿大学医学会は公式に2種の雑誌を刊行している。その一つは英文誌の Acta Medica Kindai University (Acta Med Kindai Univ) で、用語は英語とする。他は和文誌の近畿大学医学雑誌(近畿大医誌)で、用語は日本語とする。
2. 投稿者は原則として近畿大学医学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に依頼したものはこの限りではない。
3. 論文は医学に関する創意的な原著、総説、症例報告などで、原則として他の刊行物に発表もしくは受理されていないものに限る。
4. 原稿は良質な用紙を用い、本規定および別に定める原稿作成要項に従って作成され、内容と体裁が整っており、直ちに印刷することができる状態のものでなければならない。
5. 原稿の本文の長さ、ならびに図、表、および文献の数は全体のバランスにより制限することがある。
6. ヒトを対象とする研究の報告は、ヘルシンキ宣言の原則にのっとり倫理委員会等の承認を得たものである事を記載しなければならない。また、動物実験の報告は動物愛護の精神に基づき近畿大学動物実験委員会等の承認を得たものである事を記載しなければならない。
7. 既出版の図表などの引用については出版社および著者の承認書を添付し、また個人識別ができる患者の写真に掲載するときは、患者本人もしくは法定代理人の承諾の手紙を添付することが必要である。
8. 投稿の際は、原稿(original)のデータ(USBまたはCD-R)およびコピー(Acta1部、近畿大医誌1部ならびに編集委員会所定の連絡票および原稿チェックリストと著作権の同意書を提出する。
9. 共同執筆の場合、近畿大学医学会所定の書式で、すべての共著者が当該原稿の投稿を承認したことを記述した資料を添付すること。
10. 投稿原稿の掲載の可否は、すべて編集長が依頼した担当編集委員及び複数の査読者による査読を経て、決定される。
11. 論文の掲載の順序は、原則として完成原稿の受理日の順とする。ただし、校正等に要する時間によっては掲載される号が変わることがある。
12. 校正は著者の責任において行われる。著者校正は初校のみとする。初校にあっては必要最小限の訂正に止め、行の増減を伴わないよう配慮すること。組版に影響するような大きな修正は編集長の許可を必要とする。指定の期日までに返却されないときは編集委員会の責任校了とする。
13. Acta Med Kindai Univ については、カラー写真の費用は全額著者が負担するものとする。近畿大医誌については、組版代および図版(写真を含む)費用の全額を著者が負担するものとする。また両誌とも別刷についてはすべて有料とする。尚、編集委員会からの依頼論文など特殊な場合の経費については、別途に定める。
14. 特急査読論文として当該年度の3月15日に学位記を授与されるための論文(甲)を8月1日より9月30日までの間に投稿する場合、近畿大学医学会事務室に特急査読料(100,000円)を納付した後に受付される。
15. 発行予定は、Acta Med Kindai Univ 及び近畿大医誌共に年2号(6, 12月)とする。
16. 投稿先は〒589-8511大阪狭山市大野東377番地の2 近畿大学医学部近畿大学医学会雑誌編集室(電話072-366-0221 内線3218 FAX072-367-8810 E-Mail henshu@med.kindai.ac.jp)とする。著者本人が持参するか、書留郵便で郵送すること。
17. 「原稿作成の手引」は各巻の第1号に掲載されている。また、必要な場合は編集室に直接申込むこと。
18. 論文の著者および共著者は、当該論文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された論文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。

(2023年4月1日改訂)

編集後記

この度、近畿大学医学雑誌 第49巻第3・4号を発刊するにあたり、多くの貴重な研究成果を提供いただいた投稿者の先生方、そして編集にご協力いただいたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。今回も様々な分野からの先端的かつ実践的な論文が揃い、現代医学の発展に寄与する内容となりました。新しい知見を共有し、将来の医療の可能性を広げるための一助となれることを誇りに思います。

藤田和利先生による総説「腸内細菌叢と前立腺癌」では、腸内細菌叢と前立腺の関連性が詳述されています。近年の研究により、腸内細菌が前立腺に影響を与えることが明らかとなり、藤田先生は腸内細菌叢が宿主の免疫や代謝に与える影響について解説しています。この知見は前立腺癌の予防や治療に新しい可能性を示唆しています。

後藤公志先生の「人工股関節置換術：進化の歴史と今後の展望」では、人工股関節置換術の進化について述べています。1970年代以降の技術進化により、人工股関節置換術は患者のQOLを向上させる手術として発展してきました。現在ではナビゲーションやロボット技術の導入により、設置精度が向上し、低侵襲手術が可能となっています。最新の材料技術も耐用年数を延ばし、患者の負担を軽減しています。

また、本号では、近畿大学医学部の学生によるロンドン、ベトナム、タイでの海外研修レポートも掲載されています。学生たちは異文化理解や医療現場での学びを体験し、特に多様な背景を持つ患者への配慮を学びました。この国際研修は、将来の医療活動に役立つ貴重な経験です。

本誌は、これからも様々な分野の研究成果を掲載し、医療従事者や研究者の知的好奇心を刺激し、未来の医学に貢献するための情報発信を行ってまいります。今回の発刊にあたりご尽力いただいたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。本誌が多くの皆様の医療・研究活動の一助となることを祈念いたします。

近畿大学医学雑誌 編集委員長
大塚篤司

今年度、御多忙の中 近大医誌と Acta Med Kindai Univ に投稿された論文を査読して頂いた先生方に感謝の意を表して下記にお名前を列記致します。

甲斐田勇人（放射線診断学）
加藤 寛章（上部消化管外科）
川上 尚人（腫瘍内科）
木村 豊（奈良病院 消化器外科）
西郷 和真（脳神経内科）
坂口 元一（心臓血管外科）
篠崎広一郎（救命救急センター）
鈴木 智詞（奈良病院 循環器内科）

大東 弘治（内視鏡外科）
中澤 学（循環器内科）
野崎 祐史（血液・膠原病内科）
花本 仁（奈良病院 血液内科）
林 秀敏（腫瘍内科）
肥田 仁一（奈良病院 消化器外科）
平山 暁秀（奈良病院 泌尿器科）
渡邊 智裕（消化器内科）

近畿大学医学会役員

会長 西尾和人 幹事(編集) 大塚篤司
副会長 東田有智 監事 重吉康史
幹事(庶務) 松村謙臣 評議員 医学部主任教授
幹事(会計) 永井義隆

編集委員会

大塚篤司(編集長)
伊藤彰彦 岩永賢司 上裕俊法 中川和彦
(教育講座)
西尾和人
(シリーズ最新のがん)

「原稿作成の手引き」は各巻の第1号にあります。
また必要な方は編集部宛お申込み下さい。

近畿大学医学雑誌

第49巻 第3・4号

令和6年12月4日 印刷
令和6年12月18日 発行

発行人 西尾和人
編集人 大塚篤司
発行所 近畿大学医学会

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2
近畿大学医学部内

印刷 APリユース合同会社

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・
出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。